

(6) 山辺三

(宇陀市榛原長峯～宇陀市室生緑川)

平安時代には興福寺荘園の篠畑庄と呼ばれ、明治8年に近隣の三村が合併して山辺三となりました。国道の北側には、倭姫命が八咫鏡を奉祭した篠畑に比定される篠畑神社や「山部の赤人古跡これより八丁北」と山部赤人の墓と伝わる石塔を案内する宝暦年間(1751～64)に建てられた道標などがあります。



戒長寺から篠畑神社へ
十八神社から伝・山辺赤人墓を経て戒長寺前をそのまま進み、右手下に簡易水道施設が見える三叉路を下ると篠畑神社から街道へ戻ることができる。(戒長寺)



55 山辺赤人の墓
道標
宝暦年間(1751～1764)に造られた「山部の赤人古跡これより八丁北」



54 天満台東入口の信号
交差点を右折して室生ダム沿いの道を行く



59 篠畑神社
「日本書紀」の垂仁天皇の条に、倭姫命が八咫鏡を奉祭した篠畑に比定される



62 旧町村境の峠
旧道は左側の山手を通っていたとの説もある



63 半焼橋
緑の道標から右側の橋を渡って、すぐ左折して線路沿いに坂道を下る。横断注意!



61 エノキの巨樹
別名ヨノミ。幹回り約3.5mもある



57 供養塔
宇陀西国三十三ヶ所か供養塔



60 地蔵堂
藤本家の前にある



56 ぬれ地蔵
舟形の窪みに半肉彫りした地蔵立像。ダムが増水すると、裾まで水没する。裏山から水が落ちることから名付けられた



58 常夜灯
「村中安全」弘化3年(1846)5月建立

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- まちがえやすい分かれ道
- 地蔵など
- その他文化資産等
- 案内板
- トイレ